

全道のJR408駅で唯一の女性駅長

2019.7.11

くさの ようこ
草野 陽子さん

道新(朝)



ひと

2019

国内外の旅行者が行き来し、全道408のJR駅の中で札幌駅に次ぎ乗降客の多い千歳市の新千歳空港駅。その初の女性駅長として6月着任した。「北海道の空の玄関口として、気持ちよくお客さまを送り出したい」と快活に語る。

札幌出身で札幌西高卒。小樽商大在学中、外国人を観光地に案内した際、雪の降る光景に感動する様子に心動かされた。「自分たちには当たり前前の風景も、よそから来た人にはそうじゃな

いんだ」。旅に関わる仕事をしたいと1993年、JR北海道へ。営業畑を歩み、旅行商品の企画を担当してきた。

訪日外国人が増えて、新千歳空港駅では日平均約3万4千人が乗り降りする。「搭乗便への接続が遅れて、お叱りを受けることもあります」。「安全」「定時」の確保に加えて、航空機の遅延などへの臨機応変な対応が求められる職場だ。

その利用客の多さは、情報発信には大きなプラス。旅行商品を作ってきた経験を生かし、駅での観光情報の発信に力を入れる考えで、「知られていない北海道の魅力を発信し、道内の隅々まで巡ってもらいたい」。

JRの女性駅長は4人目だが現在は一人だけ。「仕事に男性も女性もない。ただ、出産後も働き続ける私の存在が、仕事が好きで働き続けたい後輩女性社員の励みになれば幸せ」。社内結婚の夫は東京で単身赴任し、長男と札幌で2人暮らし。48歳。

(池田大地)